

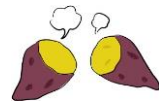
# 越谷市 手をつなぐ育成会だより やまびこ

編集 越谷市手をつなぐ育成会  
会長 高野 淑 恵  
〒343-0021 越谷市大林235-9  
TEL・FAX 048-977-1908

発行 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会  
理事長 高野 淑 恵  
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂  
2-15-3 母子福祉会館内

TEL 048-833-0444  
FAX 048-833-0400

発行日 令和元年9月30日  
購読料 20円は会費に含む



## 『 The way we were … 』

越谷市手をつなぐ育成会 会長 高野 淑 恵

平素よりご支援ご協力戴いております皆様へ厚く御礼申し上げます。

さて、皆さんはどんな映画が好きですか？「心に残る映画」とお聞きしたら、きっと千差万別、いろいろな映画の名前が出てくるのでしょね。私が若かった頃（あゝ、はるか昔…）、大好きだった映画に『追憶』という作品がありました。

ロバート・レッドフォード、バーバラ・ストライサンド主演、なんて言っても、「それ誰っ？」とか言われてしまいう。原題は、The way we were とい、直訳すると「私たちが過ごしてきた人生」みたいな何ともつまらない感じがしますね。原題を必ず邦題（日本語名）に直す習慣が久しかった頃は、こじつけや拡大解釈どころか全く意味不明の『邦題』が付けられたものでした（『明日に向かって撃つ』とか？）。

『追憶』はまだ良いですが、やはり原題 The way we wereの方がしじみみとした余韻を深くこてくれます。

Way という語はいろんな意味に使われます。有名な歌の「マイウェイ」、我が道を行く意味の「コーイング・マイウェイ」等、「道」という言葉は日本語でも「人生」であったり、「生き様」であ

ったり、時には「信念」であったりします。『道程』といえは高村光太郎の有名な詩があり、『道行き』には「旅」という意味もあり、浄瑠璃・歌舞伎の中では「駆け落ち」「心中」を意味したりと、独特な意味合いがあります。

ともあれ「道」という言葉には、人の来し方行く末をほろ苦く思い起こさせる響きがあるようです。人生百年と言われる時代ですが、私も既に人生の折り返し地点をとうに過ぎ、立ち止まっては振り返ることが多くなりました。

障害者の親としての道のりは、二十代の頃には「思いもよらなかったこと」でした。知的に障害のある息子たちの道は、まだ決してなだらかで安穩なものではないでしょうが、だからといって障害を持つ人の人生が理不尽な歲月の積み重ねであってはならないのです。ゆくりトボトボ、途中で『道草』を食いながらも、私たちはこれから障害があっても幸せに暮らせる「道作り」を倦まず弛まず行なっていくのだらうと思います。

「思いもよらなかった」人生ですが、私は流されて流されて、今、此処にたどり着いているわけではありません。「道」は自分で選ぶもの。数えきれな

いほどの分岐点を、悩み苦しみ、そして笑いながら、自分の意思で選んできた、その道の上に今の自分が在るのだと思っております。どこかで間違えていたとしても、それも含めて私の道だったと思うのです。そして今は、知的に障害を持つ子どもたちの親として、これからは「謙虚」であることも大切であると思っております。「謙虚」は「卑屈」とは違います。社会的障壁や無理解・無知識からくる理不尽さをただ甘受することでもありません。「障害」そのものは完治するものではないことを自覚し、障害ゆえの様々な問題について、適切な支援や環境整備で軽減していく努力をしながら、障害者の生き辛さを周囲に理解してもらおうことが何よりも大切だからです。親も支援者も、障害を治せる『奇跡の人』ではないことを謙虚に自覚することが大事なのだと思えます。支援の現場に、むしろ『奇跡の人』は要りません。

たった一人の『奇跡の人』より、十人の理解者がいてくれた方が、知的に障害を持つ子どもたちには、とてもありがたいことです。理解者の輪を広げることが私たちの Last way なのだらうと思っております……。

# 千草園だより

よつやく秋の気配を感じるこの頃となりました。

今回は七月から九月までの出来事をお届け致します。

## 第二回越谷市障がい者交流スポーツ大会



七月四日(木)に越谷市総合体育館にて『第二回越谷市障がい者交流スポーツ大会』が行われました。今年の参加事業所さんはおぎしま園さん、あおい空さん、しらこぼとさん、神明苑さん、桃の里さん、かなめさん、希望の里さん、野の花、千草園です。競技もさることながら、イベントや除草作業などで顔を合わせる方と挨拶をしたり「学校のお友達だよ」と久しぶりに会う方がいたり、ほのぼのとした交流も出来た大会でした。ちなみに一番の真剣勝負は、やはりのっぴ「パン食い競走」

でした。ボンボンベーカーリーさん、有難うございました。

## しらこぼと水上公園プール

七月二十六日(金)に毎年恒例、皆さんのお楽しみ行事『しらこぼと水上公園プール』に行ってきました。今年の七月は雨続きで気温も低く心配されましたが、当日は奇跡の晴天！皆さんのパワーで雨雲を吹き飛ばしたキラキラの綺麗な青空の下、流れるプールではプカプカのみびりとしたり、潜水してみたり、思いつきりバタ足をしてみたり、それぞれキラキラの笑顔で夏を満喫しました。プールの後のおやつタイムでは皆さんお目当てのおやつをゲットしてホッと一息。心地よい疲れと日焼けと共にプールを後にしました。

## アウトドア川遊び



夏のお楽しみの一つ、八月九日(金)にケニスファミリアビレッジキャンプ場での『川遊び』に行ってきました。プールとは違う水の冷たさに始めは悲鳴も上がりましたがお天気にも恵まれ、皆さん徐々にテンションアップ！思い思いに自然を楽しみました。

## 第十九回 千草園夏まつり



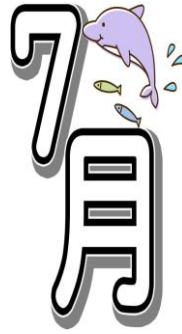
夏の締めくくりの一大イベント『第十九回 千草園夏まつり』が八月三十日(金)に開催されました。今年はお天気が不安定で前日は晴天でしたが、当日、予報通り雨降りの朝を迎え、職員一同残念な思いで準備をしていました。ご利用者さんの「夏まつり楽しみ♪」の強い思いが天に通じなんと晴れ間が！ご招待の皆様、地域の皆様と沢山の方にご来場いただき楽しい時間を過ごす事が出来ました。利用者の方々も、模擬店を次々と回り、楽しんでいました。またアトラクションでは『クワンさんなさん』の風船パフォーマンスで大いに盛り上がりました。当日、ボランティアで参加して頂いた皆様、ご来場頂いた皆様、本当に有難うございました。

## 野の花千草園 交流会



## 野の花だより

暑かった猛暑が嘘のように秋の陽気になり、虫の音が心地良い季節になってきました。今回は七月から九月の様子をお知らせ致します。



## 【スポーツレク交流会】

四日（木）越谷総合体育館でスポーツ交流会が行われ、全員で参加してきました。越谷市内の他施設の方々と一緒にパン食い競争や、玉入れなど、白熱のバトルを繰り広げて来ました。施設合同の紅白応援合戦も色々と工夫を凝らしており、見ていた職員も楽しい時間を過ごす事が出来ました。



二十三日（金）、野の花にて夏まつりを行いました。午前中はお店の準備をボランティアさんと一緒に行いました。輪投げの景品を並べたり、ポップコーンを袋に入れたり、皆さん楽しそうに行ってくれました。夏祭り本番ではカードを握りしめ、ポップコーンやかき氷くじ引きなどお祭りを楽しんでいました。千草園の利用者さん達にもお越し頂き、接客も一段と張り切って行ってくれていました。

三十日には、就労訓練施設しらこぼとで行われた夏祭りにも野の花全員でお邪魔をし、合唱やダンスを見学し、かき氷を頂いて沢山のお土産を頂きました。今年の夏は大いに夏を満喫できたと思います。



二十五日（水）は恒例の合同交流会を就労訓練施設しらこぼとのホールで行いました。午前中は交流センターの美術担当の職員さんにお越し頂き、エコバック作りを教えて頂きました。自分で好きな絵を書いたりローラーで好きな色を塗ってみたりと、各自とても個性的なバックを作っていました。午後はスポレク指導員の方にお越し頂き、パラリンピックの種目にもなっている「ボッチャ」などの、競技を教えて頂きました。初めての競技に戸惑う方もいましたが、指導員さんが解りやすく教えて下さり、スポーツの秋を満喫する事が出来ました。また、スポーツを通じて、より一層の親睦を深める事が出来たと思います。



## 「プール外出」

七月二十五日は、しらこぼと水上公園のプールへ行ってきました。流れるプールや波のプールを満喫し、お昼は「とんでん」で、ご飯を食べて来ました。九月二十七日は交流センターのプールへ行ってきました。久しぶりのプールを個々に楽しまれていました。お昼はイオン浦和美園に寄り、少し遅めの昼食でしたが、皆さん満足気の様子でした。

その他、七月から九月までに五人の方が個別外出に出かけられました。各々、好きな場所に掛け楽しいひと時を送られてきたと思います。

令和に代わり五ヶ月が過ぎ、十月からは消費税も上がります。益々、厳しくなる状況の中で野の花の利用者の方々の変化にもついて行けるよう職員一同頑張っていきたいと思えます。

「張ヶ谷」

# 会計報告

《 寄付・祝金 》 23,000円  
 ・鈴木 章 様  
 ・堀内 照夫 様  
 ・特定非営利活動法人 青藍会 様  
 ・社会福祉法人 平徳会 様  
 ・ヨシモト 様

《 賛助会費 》 6,000円(6口)

《 売上金 》  
 ・わかめ 10,500円  
 ・ごま 7,000円  
 ・お茶 7,560円  
 ・そうめん等 6,300円

ご支援ありがとうございます

## 千草園の夏まつり

お菓子をいただきました  
 ・特定非営利活動法人 青藍会 様  
 ・金田一 様

ゲームの景品をいただきました  
 ・株式会社モンレーディング 様

ありがとうございました

### ◆◆ 賛助会員紹介 ◆◆

・中村 甫尚 様  
 ・斉藤 ゆり 様

よろしく願いいたします

### 今後の予定

千草園 クリスマス会  
 12月24日(火)  
 野の花 クリスマス会  
 12月25日(水)

### 第40回「ふれあいの日」

実行委員紹介  
 佐藤 恵美子さん  
 よろしく願いします

### ◆◆◆編集後記◆◆◆

いつの頃からでしょうか。9月の声をきくと、店頭に来年の手帳やカレンダーが並びます。通販番組では、老舗料亭やデパートの豪華おせち料理の予約の開始です。残暑のなか大汗をかいていても何故か、せかされているようで、心がザワザワしてしまいます。暦もあと残り3枚。今年こそ、余裕を持って一年を締めくくりたいと思っています。私です。

(猪鼻 孝子)